

特別企画展

軌跡のきらめき

神秘の光彩、ガラスと貝細工

Special exhibition
A Radiant Legacy
The Art of Glass and Shell Inlay

2025.7.18 Fri.

▶ 2026.1.12 Mon.

コア・ガラス香油瓶
紀元前6～紀元前5世紀 当館蔵

薔薇水瓶 11～12世紀 当館蔵

花器 1900年頃 町田市立博物館蔵

龍形脚花器 当館蔵

アヴェンチュリン・マーブル・ガラス碗
17世紀 当館蔵



箱根ガラスの森美術館

特別企画展

軌跡のきらめき

～神秘の光彩、ガラスと貝細工～



花器 1900年頃
町田市立博物館蔵



花器 1905年頃
町田市立博物館蔵

A Radiant Legacy : The Art of Glass and Shell Inlay

自然が生み出す神秘的な色彩と輝きは、いつの時代も私たちに虜にし、職人たちはその魅力を自らの作品に表現しようと様々な技術を編み出しました。本展ではガラスと貝細工という異なる工芸作品を通して「きらめきと色彩の魅力」に迫ります。風化によって虹色のきらめきを放つ古代ガラス、その光彩を人工的に再現したラスター彩ガラス、瑪瑙やオパールなどの“宝石”の色彩に挑戦したヴェネチアン・グラス、そして貝が生み出す真珠層のきらめきを生かした螺鈿や青貝細工など、古代から現代に至るまでの約90点の作品をご紹介します、自然と職人の技が生み出す色彩ときらめきの軌跡を辿ります。

2025.7.18 Fri. ▶ 2026.1.12 Mon.



花螺鈿時給箱
2023年 個人蔵

Coptolabus Pustulifer
2017年 個人蔵

長頸香油瓶 1〜3世紀
高砂コレクション

龍装飾水差し 19世紀 当館蔵

マーブル装飾扁瓶 12〜13世紀
早稲田大学 會津八一記念博物館蔵
展示期間:10/14迄

龍装飾ドルフィン形水差し
19世紀 当館蔵

青貝細工入り寄木筆箱 明治
金子皓彦コレクション

鋳造ハテラ形杯 紀元前1〜紀元後1世紀
早稲田大学 會津八一記念博物館蔵
展示期間:10/15より

花器 1897年頃
町田市立博物館蔵

人物・風景図ガラス絵 明治
金子皓彦コレクション

表面部分作品 左上:《螺鈿細工》金子皓彦コレクション、左下:《青貝細工絵「孔雀に牡丹」》部分 金子皓彦コレクション、右上:《芝山漆器花囃子飾盆》部分 神奈川県立歴史博物館寄託 金子皓彦コレクション、中央:《螺》個人蔵、右下:《螺細文香台》個人蔵

主催:箱根ガラスの森美術館、毎日新聞社

後援:箱根町 協力:箱根DMO(一般財団法人 箱根町観光協会)、小田急グループ 特別協力:神奈川県立歴史博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館、町田市立博物館、早稲田大学 會津八一記念博物館、高砂香料工業株式会社、金子皓彦(國學院大学客員教授)、橋本千毅(漆芸家)



箱根ガラスの森美術館

☎250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原940-48 TEL(0460)86-3111 <https://www.hakone-garasunomori.jp>

☐開館時間 午前10時〜午後5時30分(ご入館は午後5時まで)

☐休館日 会期中無休(臨時休館あり)

☐入館料金 大人 ¥1,800 大高生 ¥1,300 小中生 ¥600

